

# 女性の視点を取り入れた 避難所運営の取り組みについて



令和4年 甲斐市

## はじめに

災害は、自然現象（自然要因）とそれを受け止める側の社会の在り方（社会要因）により、その被害が決まると考えられており、被害を小さくするためには、社会要因による災害時の困難を最小限にする取り組みが重要です。

過去に発生した「阪神淡路大震災」や「新潟県中越地震」、「東日本大震災」では、女性と男性が災害から受ける影響の違いに十分な配慮ができなかったために、多くの女性が厳しい現状におかれたことから、従来の避難所運営の取り組みに加え、『女性の視点』の必要性が認識されるようになってきました。

避難所においては、限られた空間の中で多くの人が暮らすため、平時に比べ衛生面やプライバシーの問題などで心身に負担がかかりやすいです。その中で、「男性はこうあるべき」、「女性はこうするべき」といった意識から、特定の活動が特定の性別に偏る等、ジェンダー（社会的・分科的に形成された性別）による男女どちらかに過度な負担がかからないように、日頃から男女共同参画の考えを共有することが大切です。

この資料は、女性の視点を取り入れた避難所運営の留意点を紹介しています。本市における避難所運営の基本となる「甲斐市避難所運営マニュアル」と併せて確認をお願いします。

# 目次

1	避難所開設について	・・・・・・・・	1ページ
2	避難所運営について	・・・・・・・・	3ページ
3	暴力防止・安全確保について	・・・・・・・・	5ページ
4	平時からしておくこと	・・・・・・・・	7ページ
【資料】			
■	防災グッズ	・・・・・・・・	8ページ
■	チェックシート	・・・・・・・・	9ページ

# 1 避難所開設について

災害で多くの方が困難に直面する中、男性と女性ではその困難の質や度合に大きな違いがあります。実際の避難所では、男女別の配慮が後回しにされてしまったために、単身の男女が避難所で隣同士の区画になってしまったり、要望を十分に把握できなかったために女性用品が不足してしまったりと、女性の心身への負担が大きくなった例があります。

避難所では、女性だけに限らず高齢者や障がい者、子どもなどの十分に意見を伝えられない立場の人から抑制されてしまいます。災害時であっても多くの方が安心して過ごせるように、女性や高齢者、障がい者、子どもなどへの配慮はされているか最大限考慮するよう心配りをすることが重要です。

## 【被災者の声】

- ・プライバシーが守られていなかった
- ・授乳室や更衣室がない中での着替えや授乳がよかった
- ・トイレが行きづらく、回数を減らすために水分補給を我慢した
- ・人目が気になり、下着を干すことができなかった
- ・乳幼児がいて、周りに迷惑を掛けるといけないと思い、駐車場で一晩を過ごした



熊本地震において、「男女別の配慮はありましたか」という問いに対して「男女別の配慮がなかった」と感じた避難者は63.1%でありました。

※「平成28年度避難所における被災者支援に関する事例等報告書」より



## 【具体的な対策例】

### (1) プライバシーに関わること

- 授乳室の設置
- 女性の単身者や女性のみのお世帯用エリアの設置
- 男女別のスペースの設置（更衣室、物干し場、休養スペース 等）



一度、レイアウトが決まった後での再配置は難しいため、開設当初から性別によるニーズの違いに配慮できるように意識しましょう。

### (2) 安全面に関わること

- 夜でも明るく安全な場所への男女別、多目的トイレの設置
- トイレまでの経路に夜間照明の設置
- 避難所の危険箇所や死角となる場所の把握、立入制限を行う



トイレは男性に比べ女性の方が混みやすい傾向があるので、女性のトイレを多めに設置することが望ましいです。(男1:女3の割合)

### (3) その他必要なもの

- 子育て世帯のみのエリア、子どもが遊べる場所の設置
- 要配慮者のための適切な通路の確保、段差の解消



子どもも平等に災害の影響を受けます。過去には震災の影響で自傷行為をしてしまう子どもも見られたため、ストレスが発散できる遊び場を用意することが必要です。

子どもの居場所を作ることで、その親も安心して生活することができます。意見が言いづらい人の支援が後回しにされないように配慮しましょう。



## 2 避難所運営について

避難所を運営していく中で、女性専用の避難部屋が設置された避難所においては、運営担当者が男性のみで部屋の清掃やトイレ掃除等の対応が難しかったという意見、また、物資の配布においては、男性では女性の人数に対する生理用品の在庫量が適切なのかが分からなかったといった意見がありました。

男女それぞれからのニーズに答えやすくするためには、男性だけではなく女性も運営に携わることが重要です。平常時から男女の役割を見直し、性別や年齢等によって役割が固定化しないように注意しましょう。

### 【被災者の声】

- 女性が意見を言うと避難所に居づらくなるのではと不安で言えなかった
- 食事づくりがいつも同じ人たちが担当しており、負担となっていた
- 物資担当者が男性で、生理用品や下着をもらいづらかった
- 支給を受ける時に並ばなければならなかったが、お年寄りや障がい者は大変だった
- 生理不順やナプキンによるかぶれといった女性特有の悩みを打ち明けられなかった
- 哺乳瓶の洗浄・消毒、水を沸かす方法、衛生面の心配など、とにかく子どものために必死だった



## 【具体的な対策例】

### (1) 運営について



- 管理責任者に男女両方の設置
- 自治的な運営組織の役員への女性の参画（3割以上を目標）
- 清掃や食事作り等の役割分担を性別や立場、年齢で固定化させない



声の大きな人の意見や判断に偏りがちな場面においては、情報の共有や提案をしていくことが大切です。互いに意見が言いやすい環境づくりを心がけましょう。

実際の避難所では、意見を言いづらい人のために目安箱を設置したという例もあります。トイレや専用スペースなどに設置することで人目を気にせず意見が伝えられます。



### (2) 物資の配布について

- 女性用品（生理用品、下着等）は女性担当で配布を行う
- 女性専用スペースに設置する等、女性用品の配布場所を工夫する



避難所が長期化する場合には、男女のニーズの他、妊産婦、乳幼児、食事制限のある人など多様なニーズを把握し、物資の調達や供給を行うことが望ましいです。

### (3) 衛生・保健について

- 女性のためのクリニックや相談窓口の早期開設
- 妊産婦、乳幼児等の健康に配慮し、感染症予防対策を始め衛生的な環境を確保する
- 哺乳瓶やお湯を使える衛生環境を整える



同性の支援者でないと相談しにくい場合もあるため、男女の悩み相談員を配置するのが望ましいです。誰もが相談しやすい場を整えましょう。

妊産婦や乳幼児はそれぞれの時期や年齢などにも差があるため、保健師と連携して個別の対応が必要です。状況に応じて、母子専用の休養スペースを設けるなどといった配慮を行いましょう。



## 3 暴力防止・安全確保について

夜中に知らない人が隣に忍び込んできた、車や半壊した建物に無理やり引き込まれて性暴力を受けた等、災害のストレスから弱い立場のものへの暴力が起きやすく、DV※（ドメスティックバイオレンス）の増加も懸念されます。女性だけでなく弱い立場の小学生や高齢者も暴力の被害者になることもあり、安全・安心の確保に配慮が必要です。

また、避難者名簿で DV 被害者の情報を取り扱う際には、厳重な管理が必要です。安否確認での情報開示等、何かのきっかけで DV 加害者に DV 被害者の所在が知られることがないように、安否確認の窓口を一本化する、情報が記載された資料は鍵のかかるところに保管する等、個人情報の取り扱いには十分に注意しましょう。

※DV：配偶者や交際相手など親密な関係がある者またはあった者から振るわれる暴力のこと



## 【被災者の声】

- 震災後夫のイライラがひどくなり、物を投げつけられたり、怒鳴られたりするようになった
- 避難所の布団のそばにいる等のストーカー行為を受け、トイレに逃げたりした
- 避難先のリーダー的立場のある男性から見返りとして性交を要求された
- 大人からキスしてと言われたり、着替えをのぞかれたりした（小学生）
- 避難所で被害を受けたが、周りからは「若いから仕方ないね」と見て見ぬふりをされた



被害者は、震災による被害の大きさから自分が受けている暴力については言い出せなかったり、周りから我慢するようにたしなめられたりして、問題が表面化していない場合もあります。被害が発覚してからの対策ではなく、決して暴力を許さない環境づくりが必要です。

## 【具体的な対策例】

- 男女のペアで巡回警備を行う
- 就寝場所だけでなく、女性専用スペースや車中泊（駐車場）も巡回する
- 照明を増設し、暗い場所をなくす
- 学生や不安のある人に防犯ブザー、ホイッスルを配布する
- 暴力防止ポスターの掲示や女性専用スペースに相談カードを設置
- 避難者名簿の管理の徹底



女性や子どもは2人以上で行動する、移動するときは周りと声を掛け合うなどの自衛も呼びかけましょう。

## 4 平時からしておくこと

緊急時にも迅速な対応ができるように、日頃から「女性の視点」を取り入れることが大切です。地域の避難場所運営マニュアルを作成する際には、男女で協力し、どちらの意見も取り入れるようにしましょう。

また、災害発生時の想定一つとっても昼間と夜間、平日と休日では避難する人も避難の仕方も異なります。性別や年齢、国籍などさまざまな住民が積極的に参加し、より実践的な訓練などを行いましょう。

### 【具体的な対策例】

- 女性が参加しやすい防災活動を工夫する
- 避難場所運営訓練などに女性の参加を呼びかける
- 地域の各団体と連携して、女性のリーダーを育てる
- 地域の避難場所運営マニュアル等に「男女の協力」を記載する



「男だから」「女だから」と性別で役割を決めつけず、女性も手をあげられる環境を整えましょう。誰もが等しく良好な生活環境が送れるために、日頃から男女共同参画を意識し、男女がともに力を発揮できる社会を目指しましょう。



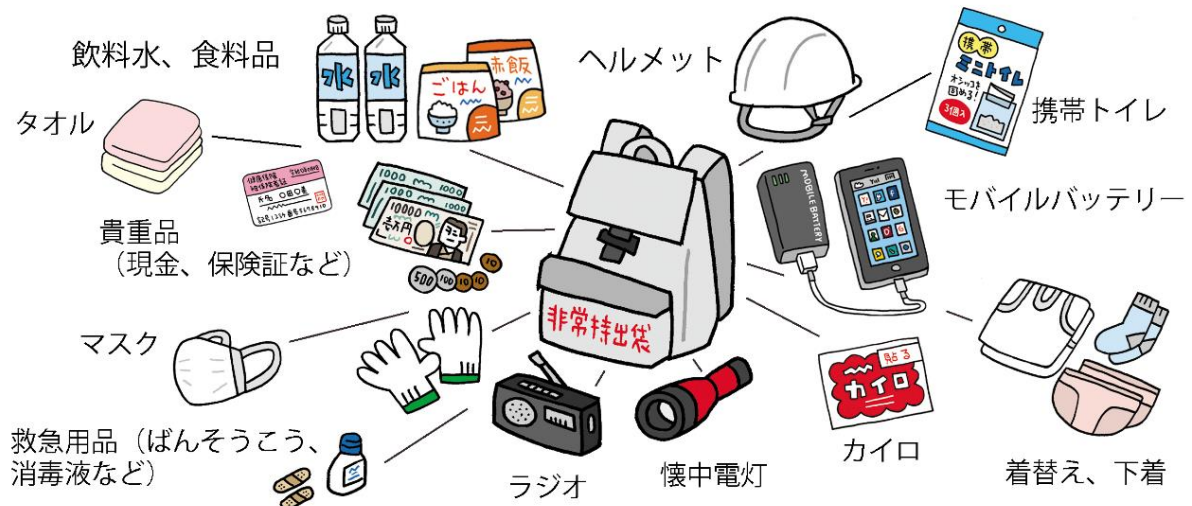
### 【編集者／甲斐市役所 生活環境部 市民活動支援課】

#### 【参考文献】

- 「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」(2020.5 男女共同参画局)
- 「女性の視点からの防災パンフレット～避難所運営の取り組みと平時からの取組～」(2019.2 大分県 防災対策企画課)
- 「平成 28 年度避難所における被災者支援に関する事例等報告書」(2017.4 内閣府)
- 「東日本大震災『災害・復興時における女性と子どもへの暴力』に関する調査報告書」(2013.12 東日本大震災女性支援ネットワーク)
- 「女性の視点を取り入れた避難所運営の取組について」(札幌市市民文化局男女共同参画室)

## ■防災グッズ

必要なものは一人一人違います。被災後の数日間を避難先で過ごすことを想定して、自分や家族に必要なものを準備しましょう。



### 《合わせて用意したいもの》

#### ▶女性の場合

- |                                |                                  |                                   |
|--------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 生理用品  | <input type="checkbox"/> 軟膏      | <input type="checkbox"/> 簡易ビデ     |
| <input type="checkbox"/> 化粧品   | <input type="checkbox"/> 髪留め     | <input type="checkbox"/> 水なしシャンプー |
| <input type="checkbox"/> ヘアブラシ | <input type="checkbox"/> 防犯ブザー・笛 |                                   |

空の洗剤ボトルで  
代用ができます

#### ▶乳幼児の場合

- |                               |                                 |
|-------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> おもちゃ | <input type="checkbox"/> ミルク    |
| <input type="checkbox"/> 抱っこ紐 | <input type="checkbox"/> 母子健康手帳 |
| <input type="checkbox"/> 紙オムツ | <input type="checkbox"/> おしりふき  |

取り出しやすく他の用途  
にも使えて便利です

#### ▶高齢者の場合

- |                                 |                                 |                                   |
|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 眼鏡     | <input type="checkbox"/> 大人用オムツ | <input type="checkbox"/> 介護手帳     |
| <input type="checkbox"/> 折りたたみ杖 | <input type="checkbox"/> 薬・お薬手帳 | <input type="checkbox"/> 家族の連絡先メモ |
| <input type="checkbox"/> 入れ歯    | <input type="checkbox"/> 補聴器    |                                   |

## ■避難所チェックシート

- 避難場所運営組織の役員には、男女が参画するようにしましょう
- 男女のニーズの違いや子育て家庭等のニーズに配慮しましょう

### ▶避難所開設について

- 授乳室（おむつ替えスペース、授乳用の枕やクッション）
- 女性専用スペース（生理用品の配置、女性相談 等）
- 男女別の更衣室、休養スペース、物干し場
- 女性の単身者や女性のみのお世帯用エリア、乳幼児のいる家庭用エリア
- 夜でも明るく安全な場所への男女別、多目的トイレの設置
- トイレまでの経路に夜間照明の設置
- 避難所の危険箇所や死角となる場所の把握、立入制限

### ▶避難所運営について

- 管理責任者に男女両方の配置
- 自治的な運営組織の役員への女性の参画（3割以上）
- 清掃や食事作り等の役割分担を性別や立場、年齢で固定化させない
- 女性用品（生理用品、下着等）は女性担当で配布
- 女性や子育て家庭等の意見及びニーズの把握、運営に反映
- 妊産婦、乳幼児等の健康に配慮した衛生的な環境の確保
- 女性のためのクリニックや相談窓口の早期開設

### ▶暴力防止・安全確保について

- 男女一緒に行う防犯体制（巡回警備、暴力を許さない環境づくり）の整備
- 啓発ポスターや女性専用スペースに相談カードの設置
- 照明の増設
- 就寝場所、女性専用スペース、車中泊（駐車場）等への巡回
- 間仕切り、パーティションが高い場合の個室の定期確認
- 防犯ブザー、ホイッスルの配布
- 配偶者等からの暴力の被害者の避難者名簿の管理の徹底